

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間教育学科	准教授	小玉 幸助	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	保育者論、乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ、保育実習指導Ⅰ、保育実習指導Ⅱ、保育実習Ⅰ、保育実習Ⅱ、子ども家庭支援論、保育内容（人間関係）、幼児と人間関係、人間教育研究基礎、人間教育研究Ⅰ、人間教育研究Ⅱ		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし	該当なし	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）	2022年8月2日	・乳児保育プレOSCEを実施	
(2)	作成した教科書、教材、参考書	2022年4月11日	・各講義で教材を作成している	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項	2023年1月30日 2023年2月20日	・株）小学館集英社プロダクションと共同し保育者論の講義を行った。 ・ゼミナールでは、色麻学園の特別支援学級で療育活動とインタビュー調査を行った。	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	・ 学校精神保健領域におけるスクールカウンセリング、スクールソーシャルワーカーの有用性について ・ 医療保育領域の有用性について	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	「乳児保育」科目における危険予知トレーニングの実践と質的研究	公表
	配分機関	全国保育士養成協議会 東北ブロック 個人研究助成費 ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022 年 4 月	
	形態種別	研究論文（大学、研究機関等紀要）	
	査読	なし	
	標題	幼児の精神発達と保育内容「人間関係」 - 幼稚園教諭とスクールソーシャルワーカーの連携について：幼児の人間関係と児童虐待 -	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学教育会教科教育（初等・中等）研究部会報	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	石巻専修大学人間教育学科	
	巻・号・頁	1-13	
	総ページ数	80	
	著者・共著者	小玉幸助	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

著書・論文			公表
2	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別	学位論文（博士）	
	査読	あり	
	標題	東北地方の私立高等学校における学校不適応を抱えた生徒を支援する専門職と医療機関の連携についての検討	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	山形大学大学院医学系研究科 生命環境医科学専攻博士後期課程（公衆衛生・衛生学講座）	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	山形大学	
	巻・号・頁	1-30	
	総ページ数	30	
	著者・共著者	小玉幸助	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	2022 年 12 月 27 日	
	発表テーマ	スクールソーシャルワーカーの研究動向 - 高校生を支援するスクールソーシャルワーカーを対象とした国内文献調査 -	
	会議名	日本福祉心理学会	
	主催者	同上（オンライン開催）	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	単独	
	開催期間	2022 年 12 月 26 日～12 月 27 日	
	発表者・共同発表者	小玉幸助	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

学会発表			公表
2	発表年月日	2023 年 3 月 5 日	
	発表テーマ	産褥期精神病患者を対象とした保育学の研究動向	
	会議名	日本保育者養成教育学会	
	主催者	文京学院大学	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2023 年 3 月 5 日	
	発表者・共同発表者	小玉 幸助・高橋 有香里	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2023 年 3 月 14 日	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	特別支援教育コーディネーターの役割 - 学校不適応を抱えた生徒への支援 -	
	役割	講師	
	主催者・発行元、場所	古川学園高等学校 特別支援厚生部・多目的ホール	
	対象	教職員	
	概要	講話では、最新の教育事情として、令和3年度生徒の問題行動（いじめ、不登校、暴力行為、精神障害（発達障害）などの学校不適応）、高校生の自殺問題を説明した。発達障害など精神疾患関係については、デジタル療法（DTx）に関する内容を講話した。現在、本研究室で研究を進めている「デジタル療育」についても公表している。また、特別支援教育コーディネーターの役割については関係機関への連絡調整、校内連携など最新の教育事情と照らし合わせながら示した。	

活動			
2	期間	2022 年 4 月 1 日から現在	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	色麻町教育委員会 いじめ防止対策推進協議会	
	役割	会長	
	主催者・発行元、場所	色麻町役場	
	対象	教育関係者・児童相談所・仙台法務局・宮城県警など	
	概要	小学校、中学校の「いじめ」「不登校」を抱える児童生徒の把握と対策について関係機関と協議した。	

活動			
3	期間	2022 年 4 月 1 日から現在	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	私立中学高等学校	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	役割	スクールカウンセラー	
	主催者・発行元、場所	古川学園中学高等学校	
	対象	生徒・保護者、中学高校の教員、行政機関・医療機関などの関係機関	
	概要	児童生徒・保護者・教職員対象のカウンセリング業務。重度ケースの場合はスクールソーシャルワーク業務も担当している。	

活動			公表
4	期間	2022 年 4 月 1 日から現在	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	全国保育士養成セミナー	
	役割	実行委員	
	主催者・発行元、場所	全国保育士養成協議会	
	対象	保育関係者	
	概要	2023 年 9 月 1 日、2 日、3 日に仙台市内で開催される全国保育養成協議会の実行委員を担当している。	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	教務委員会	委員	
2	定員確保特別委員会（学科内）	委員	
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間教育学科	教授	近藤 裕子	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	音楽文化論、初等教科教育法（音楽）、ピアノ実技とソルフェージュⅠ、ピアノ実技とソルフェージュⅡ、子どもの歌と伴奏法Ⅰ、子どもの歌と伴奏法Ⅱ、音楽、保育内容（音楽表現）、幼児と表現（音楽）、人間教育研究基礎、人間教育研究Ⅰ、人間教育研究Ⅱ		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし	なし	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項	2023年3月	近藤ゼミにおいて「まんげきょうプロジェクト」と題し、「世界中の子どもたちが災害や差別、貧困に苦しんでいることを忘れないで！」というメッセージを世界に発信した。（取材：朝日新聞、石巻日日新聞など） 1. イタリア在住のウクライナ女性写真家と「モノクロとの対話」写真展開催 2. 「まんげきょう」アニメーション制作（英文付き） 3. 「まんげきょう」絵本制作（出版）	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	作曲・編曲とその発表	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別		公表
	発行・発表の年月	令和5年3月	
	形態種別	著書	
	査読		
	標題	改訂5版 幼児の音楽教育法 美しい歌声をめざして	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名		
	掲載区分	第1部 第8章 初心者のためのキーボード・ハーモニー ーコード進行と伴奏づけー 第2部 編曲	
	出版社・発行元	ふくろう出版	
	巻・号・頁	pp. 99-107, p. 164, pp. 178-179, pp. 180-181, pp. 184-185, pp. 186-187, p. 192	
	総ページ数	224	
著者・共著者	吉富 功修、三村 真弓		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2022 年 9 月 24 日（土）	公表
	名称	第 40 回九州現代音楽祭 in 宮崎	
	区分	作品発表	
	開催場所	宮崎市民文化ホール イベントホール	
	発表・展示等の内容等	歌曲：「旅路」村野四郎 作詩 「海熱（Sea Fever）」ジョン・メイスフィールド 作詩（千葉 滋胤 訳詩）	

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2022 年 12 月 11 日（日）	公表
	活動形態	年 1 回の開催	
	タイトル、種別	第 3 回石巻ピアノコンクール	
	役割	審査員	
	主催者・発行元、場所	一般社団法人ピアノ振興会、石巻市遊楽館かなんホール	
	対象	未就学児、小学生、中学生、高校生、一般	
	概要	芸術文化及び音楽教育の向上に寄与することを目的として、幼児から一般までコースごとに任意の楽曲を演奏し、審査・表彰する。	

活動			
2	期間	2023 年 3 月 25 日（土）	公表
	活動形態	石巻名画座 vol.1	
	タイトル、種別	「ひまわり」上映会	
	役割	アフタートークゲスト	
	主催者・発行元、場所	石巻シアターキネマティカ	
	対象	一般	
	概要	アフタートークゲストとして、「ひまわり」上映後、イタリア文化や映画音楽などについて対談した。	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	特記事項なし		
2			
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間教育学科	教授	笹原 英史	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	人間学概論、教育原理、地域・学校連携論、教職課程論、教育方法論、特別活動の指導法、教育実習事前事後指導、中学校・高等学校教育実習、人間教育研究基礎、人間教育研究Ⅰ・Ⅱ		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）	2021年4月～	マルチメディアなどのデジタル化教材の使用。ミニットペーパーを用いた継続的かつ意欲的な授業への参加の工夫、ワークショップ的学習の導入。	
(2)	作成した教科書、教材、参考書	2021年4月～	講義用教材（指導案事例集、教育・教師について考える小説・映画資料）の作成	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	J・S・ハクスリーの教育思想	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022 年 4 月	
	形態種別	論文	
	査読	なし	
	標題	保育に対する地域的ニーズと課題について	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学教育会 教科教育（初等・中等）研究部会報 第 6 号	
	掲載区分		
	出版社・発行元	石巻専修大学教育会	
	巻・号・頁	22～27 ページ	
	総ページ数	6 ページ	
著者・共著者			
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ 「しない」			

著書・論文			
2	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別	論文	
	査読	なし	
	標題	カリキュラム・マネジメントについての一考察 ～「コミュニティースクール」（「学校運営協議会」）のスクール・ガバナンス視点から	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学研究紀要第34号	
	掲載区分		
	出版社・発行元	石巻専修大学	
	巻・号・頁	47～51 ページ	
	総ページ数	5 ページ	
	著者・共著者		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

IV 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			公表
1	発表年月日	該当なし	
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			公表
1	受賞年月日	該当なし	
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			公表
1	取得国	該当なし	
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2019 年 5 月～現在に至る	公表
	活動形態	地方公共団体諮問委員会委員	
	タイトル、種別	石巻市社会教育委員	
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要	石巻市社会教育委員として、石巻市の社会教育政策の立案に携わった。	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	人間学部長		公表
2	保育士・教員養成センター長		
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間教育学科	准教授	佐藤 誠子（※令和4年9月30日まで在籍）	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	心理学—心の科学—，心理学概論，教育相談の理論と方法（中等），人間学概論，心理学基礎実習，人間教育研究Ⅰ，幼児教育実習事前事後指導		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	保育の心理学	会津大学短期大学部	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）	令和4年4月～7月	「心理学—心の科学—」「心理学概論」にて，受講者数の教室定員超過により，複数教室での分散授業をZoomを利用して実施した。	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	課題解決を阻害する推論過程の特徴に関する教育心理学的研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	
*****	*****	非公表

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	科学的ルールの学習を促す教師の発問と教材特性の解明：知識表現の抽象度に着目して （研究代表者）	公表
	配分機関	日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究（C） ☐ 公表できない	
2	研究課題	ルールと操作的知識の構造化が教科学習の促進に及ぼす効果と教材開発 （研究分担者）	公表
	配分機関	日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究（C） ☐ 公表できない	
3	研究課題	学校教育で獲得された科学的知識の転移およびその抑制・促進要因に関する研究 （研究分担者）	公表
	配分機関	日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究（C） ☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022 年 6 月	
	形態種別		
	査読	査読あり	
	標題	知識の道具的機能の教授が自己完結的推論の抑制に及ぼす効果—四角形のルールによる図形分類課題を取り上げて—	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	教授学習心理学研究	
	掲載区分		
	出版社・発行元	日本教授学習心理学会	
	巻・号・頁	17 巻 2 号 60-71.	
	総ページ数	12 ページ	
	著者・共著者		
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない			

著書・論文			公表
2	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022 年 4 月	
	形態種別		
	査読	査読なし	
	標題	幼児・初等教育における身近な環境資源を活用した教材の検討—「教科書にない事例」選択の必要性について—	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	石巻専修大学教育会教科教育（初等・中等）研究部会報	
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁	第 6 号, pp. 37-46	
	総ページ数		
	著者・共著者	佐藤誠子・永山貴洋	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ ■しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022 年 6 月	公表
	発表テーマ	条件づけ判断における自己完結的推論をいかにして脱却するか―「あいまい事例」を用いた条件づけの授業実践―	
	会議名	日本教授学習心理学会第 18 回年会	
	主催者	日本教授学習心理学会	
	学会区分	国内学会	
	発表形式	口頭	
	単独共同区分	単独	
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
		個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ ■しない	

学会発表			
2	発表年月日	2022 年 6 月	公表
	発表テーマ	ルールの 2 つの機能の理解	
	会議名	日本教授学習心理学会第 18 回年会	
	主催者	日本教授学習心理学会	
	学会区分	国内学会	
	発表形式	口頭	
	単独共同区分	共同	
	開催期間		
	発表者・共同発表者	進藤聡彦・工藤与志文・佐藤誠子	
		個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ ■しない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			
3	発表年月日	2022 年 8 月	公表
	発表テーマ	未知事例への知識使用を促す教授活動が自己完結的推論の抑制に及ぼす効果―「三角型四角形」問題を取り上げて―	
	会議名	日本教育心理学会 64 回総会	
	主催者	日本教育心理学会	
	学会区分	国内学会	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	単独	
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない			

学会発表			
4	発表年月日	2022 年 8 月	公表
	発表テーマ	ルール適用においてカテゴリー情報はなぜ無視されるのか	
	会議名	日本教育心理学会 64 回総会	
	主催者	日本教育心理学会	
	学会区分	国内学会	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	共同	
	開催期間		
	発表者・共同発表者	工藤与志文・佐藤誠子・進藤聡彦	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	2022 年 8 月 10 日	公表
	授与機関名	日本教育心理学会	
	受賞学術賞名	2021 年度優秀論文賞	
	受賞区分		
	概要	佐藤誠子・工藤与志文（2021）概念変化はなぜ生じにくいのか—仮説的判断を阻害する要因としての自己完結的推論— 教育心理学研究, 69(2), 135-148.	

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	人間学部教務委員会 委員	人間学部教務委員として、年度はじめのオリエンテーションや履修相談等、学務事項の業務を担った。	
2	人を対象とする倫理審査委員会 委員	人を対象とする研究の倫理審査を複数件担当した。	
3			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間教育学科	教授	佐藤 正恵	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	特別支援教育（中等）、特別支援教育（障がい児・者心理学）、保育実習指導Ⅰ、保育実習Ⅰ（施設）、人間教育研究基礎、人間教育研究Ⅰ、人間教育研究Ⅱ		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	被災地における心理社会的支援の意義について	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	高齢者・地域住民に歴史資料保全活動が及ぼす心理社会的影響に関する調査研究(科学研究費補助金・挑戦的萌芽) (研究分担者として)	公表
	配分機関	代表 東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤大介 ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022年4月3日	
	形態種別	研究論文	
	査読	なし	
	標題	注意欠如多動症(ADHD)のある青年のレジリエンスとその特徴	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学教育会教科教育（初等・中等）研究部会報	
	掲載区分		
	出版社・発行元	石巻専修大学教育会教科教育（初等・中等）研究部会	
	巻・号・頁	第6号 pp.63-71	
	総ページ数	80	
	著者・共著者		
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	該当なし	
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	2022 年 12 月 2 日	公表
	発表テーマ	放課後児童クラブの役割	
	会議名	令和4年度放課後児童支援員資質向上研修	
	主催者	宮城県子ども総合センター	
	会議区分、講演区分	講演	

受賞学術賞		該当なし	
1	受賞年月日		公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得		該当なし	
1	取得国		公表
	知的財産権の種類		
	出願国		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2015 年～現在に至る	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	石巻圏域の放課後児童クラブ巡回相談	
	役割	相談員	
	主催者・発行元、場所	本人（「蛇田地区放課後児童クラブうーるー」や「宮城県学童保育緊急支援プロジェクト」への協力）	
	対象	放課後児童クラブ主催団体および支援員	
	概要	クラブに在籍する発達障害のある児童等に関する支援方法について、巡回によって助言を行う	

活動			
2	期間	2019～現在に至る	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	石巻圏域の放課後児童クラブ支援員の事例検討会	
	役割	コメンティター	
	主催者・発行元、場所	放課後児童クラブ事例検討会	
	対象	放課後児童クラブ支援員	
	概要	2 ヶ月に 1 回実施される検討会で助言を行う	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	学生保健支援センター長	センター長兼相談員兼コーディネーターとして、発達障害や精神疾患のある学生への支援や教員へのコンサルテーションを行うとともに、全学生を対象にしたストレス・マネジメント・アンケート調査によって、リスクのある学生への迅速な支援に努めた。	
2	教員資格審査委員		
3			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間教育学科	助教	新鶴田 道也	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	初等教科教育法（理科），理科，初等教科教育法（生活），生活，保育内容（環境），幼児と環境，人間教育研究基礎，人間教育研究Ⅰ，人間教育研究Ⅱ，幼児教育実習事前事後指導		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2022 年 11 月 12 日	初等教科教育法（生活）の教育実践について日本理科教育学会東北支部大会で口頭発表した。	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項	2023 年 1 月 18 日	小学校および中学校教員採用試験合格者を対象に理科実験セミナーを企画・実施した。	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	理科カリキュラム・教材の研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2022 年 7 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	査読あり	
	標題	中学校理科における電気抵抗の形状依存性の導入に向けての検討 — 抵抗体の形状を 2 次元的に変化させた電気抵抗値の測定実験の評価から —	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	科学教育研究	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	日本科学教育学会	
	巻・号・頁	46(2), 117-124 頁	
	総ページ数	8	
	著者・共著者	新鶴田道也, 大久保博和, 岩山勉	
個人研究費課題			■ 該当 ・ □ しない

著書・論文			
2	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2022 年 4 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	査読なし	
	標題	micro:bit を活用した小学校理科プログラミング教育の導入について	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	石巻専修大学教育会教科教育（初等・中等）研究部会報	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	石巻専修大学人間学部人間教育学科	
	巻・号・頁	6, 28-36 頁	
	総ページ数	9	
	著者・共著者	新鶴田道也, 乾和真, 岩山勉	
個人研究費課題			□ 該当 ・ ■ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022 年 11 月 12 日	公表
	発表テーマ	教員養成課程における地域の行事を活かした生活科教育法の実践－教員志望学生の考える七夕教材の意義－	
	会議名	日本理科教育学会第 61 回東北支部大会	
	主催者	日本理科教育学会東北支部	
	学会区分	地方学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 11 月 12 日	
	発表者・共同発表者	新鶴田道也，荒谷航平，郡司賀透	
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

学会発表			
2	発表年月日	2022 年 12 月 6 日	公表
	発表テーマ	Practices to imagine the shape dependence of electrical resistance	
	会議名	The IUPAP International Conference on Physics Education	
	主催者	IUPAP	
	学会区分	国際学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 12 月 5 日～9 日	
	発表者・共同発表者	Michiya Shintsuruta, Hirokazu Okubo, and Tsutomu Iwayama	
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			公表
3	発表年月日	2022 年 12 月 10 日	
	発表テーマ	「電流による電熱線の発熱量」実験での教材の開発	
	会議名	日本理科教育学会東海支部大会	
	主催者	日本理科教育学会東海支部	
	学会区分	地方学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 12 月 10 日	
	発表者・共同発表者	大久保博和，新鶴田道也，岩山勉	
個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

IV 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2022 年 7 月 21 日	公表
	活動形態	セミナー・ワークショップ	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	タイトル、種別	ソニー科学教育研究会宮城支部ものづくり教室	
	役割	助言・指導	
	主催者・発行元、場所	ソニー科学教育研究会宮城支部	
	対象	小学校第6学年児童	
	概要	電気を利用したものづくり教室の運営を支援	

活動			公表
2	期間	2022年11月1日～4日（3日間）	
	活動形態	出前授業	
	タイトル、種別	幸田町立幸田中学校出前授業	
	役割	講師	
	主催者・発行元、場所	幸田町立幸田中学校	
	対象	中学校第2学年生徒	
	概要	電気抵抗の探究的学習	

活動			公表
3	期間	2022年11月30日～12月2日	
	活動形態	出前授業	
	タイトル、種別	東松島市立矢本西小学校出前授業	
	役割	講師	
	主催者・発行元、場所	東松島市立矢本西小学校	
	対象	小学校第6学年児童	
	概要	電気の利用（プログラミング）	

活動			公表
4	期間	2023年2月10日～2月24日（6日間）	
	活動形態	出前授業	
	タイトル、種別	東松島市立矢本西小学校出前授業	
	役割	講師	
	主催者・発行元、場所	東松島市立矢本西小学校	
	対象	小学校第5学年児童	
	概要	振り子の運動	

活動			公表
----	--	--	----

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

5	期間	2023 年 2 月 15 日	
	活動形態	出前授業	
	タイトル、種別	幸田町立幸田小学校出前授業	
	役割	講師	
	主催者・発行元、場所	幸田町立幸田小学校	
	対象	小学校第 6 学年児童	
	概要	電気の利用（プログラミング）	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	IR 推進委員会	卒業生およびその就職先への本学に関する意見収集	
2			
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間教育学科	教授	新福 悦郎	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	社会、初等教科教育法社会、教育方法論、道德教育の理論と指導法、教職実践演習、人間学概論（分担）、地域学校連携論（分担）、人間教育基礎研究、人間教育研究Ⅰ、人間教育研究Ⅱ		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	社会科教育論Ⅰ、Ⅱ、公民科教育論	東北大学教育学部	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	日韓歴史教科書の比較研究と人権教育・学校安全の総合的研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	安全配慮義務高度化に対応した学校安全の研究―判決書教材によるプログラム開発	公表
	配分機関	科学研究費助成事業 基盤研究(C) 研究代表 新福悦郎 ☐ 公表できない	
2	研究課題	日韓の歴史教科書及び博物館歴史展示等における植民地支配関係記述の比較研究	公表
	配分機関	科学研究費助成事業 基盤研究(B) 研究代表 梅野正信 研究分担者 新福悦郎 ☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2022 年 8 月	
	形態種別	科研費報告書	
	査読	なし	
	標題	第 3 章 韓国併合	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	「日本と韓国の自国史教科書における植民地期関係記述の到達点および共有可能な歴史的事実の検討」	
	掲載区分	科研費報告書	
	出版社・発行元	科学補助金基盤研究（B）19H01304 「日韓の歴史教科書及び博物館歴史展示における植民地期関係記述の比較研究」（2019～2022）研究報告	
	巻・号・頁	第 3 章 43-63	
	総ページ数	241	
	著者・共著者	梅野正信、新福悦郎、福田喜彦、白井克尚、真島聖子、蜂須賀洋一、徐鐘珍、池野範男、久留島浩、大浜郁子	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

著書・論文			
2	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2023年3月	
	形態種別	大学研究紀要	
	査読	なし	
	標題	韓国併合の強制性に関する日本の検定歴史教科書記述の分析と特色—学校教育での日本語強制に焦点化して—	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学研究紀要	
	掲載区分	論文	
	出版社・発行元	石巻専修大学	
	巻・号・頁	第34号、53-66	
	総ページ数	14	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

著者・共著者	新福悦郎	
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない		

著書・論文			
3	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別	書籍	
	査読	なし	
	標題	大川小学校高裁判決から学ぶ市民の防災	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	子どもたちの命と生きる	
	掲載区分		
	出版社・発行元	信山社	
	巻・号・頁	239-242	
	総ページ数	296	
	著者・共著者	飯孝行、会津泉、百武伸幸、池上正樹、加藤順子、室崎益輝、吉岡和弘、木村滋人、今野浩行、今野ひとみ、佐藤和隆、佐藤美広・とも子、千葉直美、只野英昭、中村次男・まゆみ、永沼由美子、佐藤敏郎、平塚真一郎、狩野孝雄、鈴木典行、寺田和弘、美谷島邦子、高橋シズエ、小佐井良太、森岡崇、戸田香、石原（長）明子、増田聡、山内宏泰、齋藤雅弘、野村裕、鈴木秀洋、土屋明広、高橋眞、田村孝行、佐藤美香、竹澤さおり、林香織、篠原真紀、只野哲也、佐藤秀明・別所英恵、佐藤そのみ、遠藤仁雄、大槻幹夫、酒井紀之、新福悦郎、徳水博志、麻生川敦、水野海、黒田典子、ほか匿名 1 名	
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない			

著書・論文			
4	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2023 年 7 月	
	形態種別	教育雑誌、	
	査読	なし	
	標題	「ハンセン病問題から学び、伝える一差別のない社会をつくる人権学習」	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	歴史地理教育	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	掲載区分	書評	
	出版社・発行元	歴史教育者協議会	
	巻・号・頁	第 941 号、86-87 の 3 段のうち 1 段	
	総ページ数	2	
	著者・共著者	新福悦郎	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022 年 11 月 19 日（土）	
	発表テーマ	学校安全に関する学校・教師の安全配慮義務内容の分析と実践 -教員養成・教員研修用判決書教材作成と分析を通して-	
	会議名	日本教育実践学会 第 25 回研究大会（佛教大学）	
	主催者	日本教育実践学会	
	学会区分		
	発表形式	自由研究発表	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 11 月 19 日（土）～20 日（日）	
	発表者・共同発表者	蜂須賀 洋一（上越教育大学） 新福 悦郎（石巻専修大学） 萩原 和孝（第一工科大学）	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	2022 年 10 月 6 日（木）	公表
	発表テーマ	子どもの権利といじめ	
	会議名	宮城県児童館児童クラブ連絡協議会 第7 地区研修会	
	主催者	宮城県児童館児童クラブ連絡協議会	
	会議区分、講演区分	講演	

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2017 年～現在	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	女川町教育委員会	
	役割	教育委員	
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			
2	期間	2018 年～2022 年 9 月	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	石巻市いじめ問題対策連絡協議会	
	役割	会長	
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			
3	期間	2023 年 2 月～	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	石巻市いじめ問題対策調査委員会	
	役割	会長	
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

活動			
4	期間	2019 年～現在	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	石巻市子どもの権利推進委員会	
	役割	会長	
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			
5	期間	2020 年～現在	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	石巻市行政不服審査会	
	役割	委員	
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			
6	期間	2015 年～現在	非公表
	活動形態		
	タイトル、種別	仙台家庭裁判所石巻支部	
	役割	調停委員	
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			
7	期間	2020 年～現在	非公表
	活動形態		
	タイトル、種別	文部科学省人権教育推進事業書面審査委員	
	役割	審査委員	
	主催者・発行元、場所		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	人間教育学科学科主任	学科内の連絡調整	
2	学科教務委員	学科内教務関係の世話役	
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間教育学科	助教	高橋 功祐	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	健康科学と身体運動，体育，生活習慣と健康管理，生涯スポーツ論，地域スポーツ論，幼児体育，幼児教育実習Ⅰ，幼児教育実習Ⅱ，幼児教育実習事前事後指導，フレッシュマンセミナー，人間教育研究基礎，人間教育研究Ⅰ，人間教育研究Ⅱ		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）	2022 年 4 月 1 日 ～	「健康科学と身体運動」「生活習慣と健康管理」「生涯スポーツ論」「地域スポーツ論」での毎講義終了時にその日の講義内容の小テストを行なった。小テストは次の講義の初めに返却し，振り返りに活用した。これらから講義内容の定着を図り，学生の定着度から講義の方向性の再検討を行うことができた。	
(2)	作成した教科書，教材，参考書	2022 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 4 月 1 日 ～	いつでも遠隔授業に切り替えができるように授業の動画データを作成した。すべての学生が十分なネット環境を確保することができていない現状から，できる限り通信量のかからない授業資料の作成が求められた。PowerPoint の資料に音声データを追加し，できる限り動画データを活用しない工夫を行なった。 いつでも遠隔授業に切り替えができるように実技授業に関する視聴覚資料を作成した。エクササイズプログラムやトレーニング方法等のポイントをまとめ，視聴覚資料を基に学生が自宅等で運動やスポーツを行うことができるように工夫した。	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

(3)	教育方法・教育実践に関する発表，講演等	2022 年 4 月 1 日 ～	回答のあったすべての担当科目において，総合評価が 4.0 以上であった。 担当している科目の多くが実技を伴う授業のため，運動が苦手な学生でも 運動に親しむことができるように工夫した。	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1－1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	心身の健康増進のための身体活動と健康管理に関する研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）， ☐ B（概ね達成）， ☐ C（やや達成不足）， ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1－2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

1－3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	石巻圏域における幼児の生活習慣ならびに体力・運動能力の現状	公表
	配分機関	（公財）石巻地域高等教育事業団 □公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	□公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	□公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2023 年 4 月 予定	
	形態種別	研究ノート	
	査読	査読なし	
	標題	宮城県における子供の発育・発達及び健康状態に関する現状とその課題	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学教育会教科教育（初等・中等）研究部会報	
	掲載区分		
	出版社・発行元	石巻専修大学教育会教科教育（初等・中等）研究部	
	巻・号・頁	第 7 号	
	総ページ数	11 頁	
	著者・共著者	高橋 功祐	
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

著書・論文			
2	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別	報告書	
	査読	査読なし	
	標題	令和 4 年度 石巻圏域における幼児の体力・運動能力，生活習慣等調査報告書	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

--

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日		公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
個人研究費課題 ☐該当 ・ ☐しない			

学会発表			
2	発表年月日		公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
個人研究費課題 ☐該当 ・ ☐しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動		該当なし	
1	期間		公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演，受賞学術賞，特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	2022 年 8 月 4 日	公表
	発表テーマ	生活習慣と健康管理	
	会議名	高大連携事業	
	主催者	東松島高等学校	
	会議区分，講演区分	講義	

講師・講演			
2	発表年月日	2022 年 9 月 28 日	公表
	発表テーマ	生活習慣と健康管理	
	会議名	高大連携事業	
	主催者	専修大学北上高等学校	
	会議区分，講演区分	講義	

受賞学術賞		該当なし	
1	受賞年月日		公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	受賞区分		
	概要		

特許取得		該当なし	公表
1	取得国		
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号，公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	2022 年 11 月～2023 年 2 月	
	活動形態	実践活動	
	タイトル，種別	幼児の体力・運動能力テスト	
	役割	調査主任	
	主催者・発行元，場所	石巻圏域の小学校就学前施設	
	対象	小学校就学前施設に通う 3 歳から 5 歳児クラスの幼児	
	概要	石巻圏域の幼児を対象に体力・運動能力テストを実施した。測定結果は就学前施設ならびに保護者へフィードバックし，運動習慣の意識向上を図った。	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	学生部委員会 委員		
2	FD 委員会 委員		
3	人間学部クラス担任	人間学部クラス担当（人間教育学科 2 年次）	
4	サークル部長	軟式野球部，フットサル愛好会，ALL バスケットボール愛好会 部長	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間教育学科	教授	高橋 寛人	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	教職概論(初等)、教職概論(中等)、教育制度論(初等)、教育制度論(中等)、教育課程論(初等)、保育・教職実践演習(幼・小)、人間教育研究基礎ほか		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫(授業研究会等を含む)		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	日本の教育改革の研究---歴史的視座から現代化改革を考察する	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	教育経営システムの構造変容に関する総合的研究：社会総掛かりでの教育の実現に向けて	公表
	配分機関	日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B) 研究代表：南部初世（名古屋大学） ☐ 公表できない	
2	研究課題	若者支援・ユースワークに関わる専門性の育成・評価をめぐる国際的共同研究	公表
	配分機関	日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B) 研究代表者：横井敏郎（北海道大学） ☐ 公表できない	
3	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2023年3月	
	形態種別	図書(分担執筆)	
	査読	なし	
	標題	第7章 高校内居場所カフェの支援機能	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	『子ども・若者の居場所と貧困支援』（横井敏郎編著）	
	掲載区分		
	出版社・発行元	学事出版	
	巻・号・頁	109－125	
	総ページ数	189	
	著者・共著者		
			公表
個人研究費課題 ☐該当 ・ ☐しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022年6月5日	
	発表テーマ	スクールロイヤー制度の多様性と課題 ---- 弁護士側の視点からの考察	
	会議名	日本教育経営学会第62回大会(上越教育大学)	
	主催者	日本教育経営学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭	
	単独共同区分	単独	
	開催期間	2022年6月4-5日	
	発表者・共同発表者	高橋寛人	
			公表
個人研究費課題 ☐該当 ・ ☐しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	保育士・教員養成センター委員	とくに教職課程自己点検報告書の作成に関わった。	
2	教務委員	転出教員の代わりとして後期より担当した。	
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間教育学科	特任准教授	高橋 有香里	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	言語表現、子どもの保健、子ども家庭福祉、社会福祉論、保育内容総論、保育原理、		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	子どもの最善の利益を追求した保育・子育て支援の内容を探る	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	産褥期精神病患者を対象とした保育学の研究動向	公表
	配分機関	日本保育者養成教育学会 ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			公表
個人研究費課題 ☐ 該当 ☐ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2023年3月5日	
	発表テーマ	産褥期精神病患者を対象とした保育学の研究動向	
	会議名	日本保育者養成教育学会第7回研究大会	
	主催者	日本保育者養成教育学会	
	学会区分		
	発表形式	ポスター発表	
	単独共同区分	共同発表	
	開催期間	2023年3月5日	
	発表者・共同発表者	石巻専修大学 人間学部 准教授 小玉幸助	
			公表
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	2023年2月13日	公表
	発表テーマ	絵本と子育て支援	
	会議名	令和4年第2回 仙台市子育てふれあいプラザ等職員研修	
	主催者	仙台市子ども未来局総務課	
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	図書館委員会委員		
2			
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間教育学科	准教授	永山 貴洋	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	健康心理学，心理学基礎実験，心理学基礎実習，幼児体育，健康科学と身体運動，幼児と健康，保育内容（健康），初等教科教育法（体育），子どもと野外活動，人間教育研究基礎，人間教育研究Ⅰ，人間教育研究Ⅱ，幼児教育実習事前事後指導，幼児教育実習Ⅰ，幼児教育実習Ⅱ，フレッシュマンセミナー		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
該当なし				

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	熟達化およびコーチングに関する心理学的研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	適応的熟達化に向けた身体技能創造を支援するコーチングモデルの構築	公表
	配分機関	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業 ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022 年 4 月	
	形態種別	速報, 短報, 研究ノート等 (大学, 研究機関紀要)	
	査読	無	
	標題	小学校体育授業における ICT を活用した運動技能の学習指導－学習者の動作意識に着目した ICT 活用方法の検討－	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学教育会 教科教育 (初等・中等) 研究部会報	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	石巻専修大学教育会 教科教育 (初等・中等) 研究部	
	巻・号・頁	6 号 47-54 頁	
	総ページ数	8	
	著者・共著者	永山貴洋	
個人研究費課題			■該当 ・□しない

著書・論文			公表
2	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022 年 4 月	
	形態種別	速報, 短報, 研究ノート等 (大学, 研究機関紀要)	
	査読	無	
	標題	幼児・初等教育における身近な環境資源を活用した教材の検討－「教科書にない事例」選択の必要性について－	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	石巻専修大学教育会 教科教育 (初等・中等) 研究部会報	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	石巻専修大学教育会 教科教育 (初等・中等) 研究部	
	巻・号・頁	6 号 37-46 頁	
	総ページ数	10	
	著者・共著者	佐藤誠子・永山貴洋	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	2022 年 10 月 2 日	
	発表テーマ	育成年代サッカー指導者の認識的信念の分析－選手の独自性育成に着目して－	
	会議名	日本スポーツ心理学会第 49 回大会	
	主催者	日本スポーツ心理学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	単独	
	開催期間		
発表者・共同発表者	永山貴洋		
			個人研究費課題 ■ 該当 ・ □ しない

学会発表			公表
2	発表年月日	2022 年 9 月 2 日	
	発表テーマ	熟達化過程においてチームスポーツの選手はいかにして独自性を発揮しているのか	
	会議名	日本体育・スポーツ・健康学会第 72 回大会	
	主催者	日本体育・スポーツ・健康学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	単独	
	開催期間		
発表者・共同発表者	永山貴洋		
			個人研究費課題 ■ 該当 ・ □ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	該当なし		
2			
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間教育学科	准教授	平川久美子	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	教育心理学、発達心理学、保育の心理学、保育原理、障害児保育、幼児理解の理論と方法、心理学基礎実験、心理学基礎実習、フレッシュマンセミナー、人間教育研究基礎、保育実習指導Ⅱ、保育実習Ⅱ		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	母性の心理・社会	スズキ病院附属助産学校	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書	2023年1月10日	『シードブック子どもの理解と援助』（建帛社）の「第10章特別な配慮を必要とする子どもの理解と援助」を執筆	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
該当なし				

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	幼児期の情動発達に関する研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	「気になる」幼児の情動発達支援における巡回相談の効果	公表
	配分機関	科学研究費（若手研究） ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2015 年～現在	公表
	活動形態	仙台市保育専門技術向上支援事業 スーパーバイザー	
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			
2	期間	2020 年～現在	公表
	活動形態	石巻市保育専門技術向上支援事業 スーパーバイザー	
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			
3	期間	2013 年～現在	公表
	活動形態	塩竈市子ども・子育て会議 委員	
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	対象		
	概要		

Ⅵ 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	入学試験委員会委員		
2	広報委員会委員		
3			
4			

Ⅶ その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間教育学科	特任教授	横江 信一	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	保育・教職実践演習（幼・小）、初等教育実習事前事後指導、地域と政策、地域・学校連携論 総合的な学習の時間の指導法、総合的な学習の時間の指導法（中等） 初等教育実習Ⅰ、初等教育実習Ⅱ、保育実習Ⅰ、保育実習Ⅱ、保育実習指導Ⅰ、保育実習指導Ⅱ、 幼児教育実習事前事後指導、幼児教育実習Ⅰ、幼児教育実習Ⅱ、 人間教育研究基礎、人間教育研究Ⅰ、人間教育研究Ⅱ		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）	2022/09/29	青森中央高等学校「職業別ガイダンス、模擬授業」 青森中央高等学校1，2年生10名を対象に、職業別ガイダンス、模擬授業「小・中・高校教諭の仕事について」の講話で14:20～15:20（60分）の講義をオンラインで行った。内容としては、職業別分科会の中で小中・高等学校教諭の仕事内容や必要な資格・知識・適性、求められる人材等、職業理解に繋がるような説明を行った。	
		2022/08/22	専修大学北上高等学校「大学訪問ツアー」 専修大学北上高等学校1年生258名を対象にした石巻専修大学訪問ツアーにおいて、「授業・研究&学校紹介」の中でよりよい人間関係づくりに関する授業・研究と人間教育学科の紹介を行った。	
		2022/07/20	宮城県石巻好文館高等学校出前授業	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

		2022/07/01	総合的な探究の時間「甲斐ある人といわれたいむ」で保育・教育を研究対象にしている2年生37名対象に「合意形成を図るコミュニケーションづくりについて」をテーマに、人間関係づくりとディスカッション等の授業を実施するとともに、研究の進め方について助言を行った。 宮城県本吉響高等学校出前授業 本吉響高等学校2年生5名を対象に、「教育に関する仕事の魅力について」の講話で、職業別分科会の中で教育関係の仕事内容や必要な資格・知識・適性、求められる人材等、職業理解に繋がるような内容の授業を行った。	
		2022/06/22	宮城県志津川高等学校模擬授業 宮城県志津川高等学校1年生7名を対象に、「ハートフルタワーを作ろう ～あなたの大切な価値は何ですか？～」をタイトルに多様な考えを引き出すコミュニケーションづくりに関する授業を行った。	
		2022/04/27	石巻専修大学高大連携授業 専修大学北上高校3年生対象の特別講座（総合科目）の第1回目で「自己理解と人間関係づくり」の講義を実施した。講義の前半では、大学で学ぶことの意義や得た知識を他者との関係性の構築に活かす方法について授業を行い、後半では、今後展開される「総合科目」の講義について受講上の心構えなど説明を行った。	
		2022/04/22	宮城県気仙沼向洋高等学校模擬授業 宮城県気仙沼向洋高等学校産業経済科3年生39名を対象に人間学部の紹介と「自己の未来を見つめてみませんか」の講話で模擬授業を行った。	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2022/12/19	「不登校やいじめを生まない学級づくり」 石巻市立住吉中学校教職員20名の指導力向上を目的に、「不登校やいじめを生まない学級づくり」の講話で、中学生の現状と課題や学級づくりに向けた自己肯定感を高める手立てなどの内容で講話を行った。	
		2022/11/18	「子どもたちの輝く未来を求めて ―現代の課題から子どもを救う―」	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

		2022/08/19	一般社団法人石巻青年会議所の会員対象により多様化する現代社会において今実際に青少年に起きている問題点や現状、その問題に対して親世代がどのように接し対応していかなければならないか、講話を通して全体討議を行った。 「よりよい人間関係を築く特別活動」 富谷市の幼稚園、小学校、中学校の教職員全員を対象に、学級づくりを基盤とした特別活動を通じた自己肯定感を高めるための具体的な方策や人間関係づくりを構築するための学級活動の展開等の講話をZ o o mによるオンラインで実施した。	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項	2022/12/06 ～ 2022/12/08 2022/10/12 2022/10/11 2022/06/24 ～ 2022/12/09 2022/06/09	石巻西高等学校地域課題探究型フィールドワーク 石巻西高校の1年生5名が「“誰一人取り残さない”居心地の良い学級づくりを目指せ」をテーマに、プロジェクトアドベンチャー体験・居心地の良い学級プラン作成の地域課題探求型フィールドワークに取り組んだ。 石巻好文館高等学校分野別課題中間発表助言 宮城県石巻好文館高等学校2年次対象の高大接続事業「甲斐ある人といわれたいむ」(総合的な探究の時間)における分野別課題研究ゼミ内発表会(教育・保育)で20名の学生に対して指導・助言を行った。 石巻西高等学校「街ライブラリー」 宮城県石巻西高等学校第1学年の総合的な探究の時間におけるフィールドワークに向け「7「7“誰一人取り残さない”居心地の良い学級づくりを目指せ」によるテーマを明確にできるようにするとともに、フィールドワーク活動に見通しを持つことができるようにする。 教師力向上セミナー「いしのまき教師塾」 石巻専修大学開放センター教育連携部会長として企画運営に当たり、保育士・教員養成センターと連携し、石巻市、東松島市、登米市、女川町の小・中学校に勤務している臨時的任用教員や本学学生を対象に、学校現場の勤務や教員採用試験の受験に対する不安解消に努めるとともに、教職に対する情熱や使命感を高め、教師としての実践的指導力の向上を図ることをねらいに実施した。 石巻専修大学開放講座	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

		2022/04/19	宮城県教育委員会主催によるみやぎ県民大学「石巻専修大学開放講座」の第2回目 6/9(木)15:30～17:00において、統一テーマ「もっと地元を知ろう」のもと、「石巻地方の小学校今昔物語～震災遺構 門脇小学校からのメッセージ～」をテーマに講話を行った。 石巻西高等学校地域課題研究「作戦会議」 宮城県石巻西高等学校3学年の総合的な探究の時間で地域課題研究「作戦会議」が実施され、3学年の生徒8名が自ら設定したSDGs 地域課題に対して講師として参加し助言を行った。生徒は、あらかじめ自分で作成したワークシートを基に今後実施されるフィールドワークの準備に取り組んだ。	
--	--	------------	--	--

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	
		該当なし		公表

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	小学校から大学まで連続したキャリア教育カリキュラムの開発	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	「総合的な探究の時間」における高大連携のプログラム開発に関する研究	公表
	配分機関	石巻専修大学研究助成（ISU研究助成）	
2	研究課題	キャリア発達を促す産学官連携事業の実践研究－「いしのまき子ども未来スクール」の実践を通して－	公表
	配分機関	日本キャリア教育学会第44回研究大会 ☐ 公表できない	
3	研究課題	高大連携による「総合的な探究の時間」の実践に関する一考察	公表
	配分機関	日本生活科・総合的学習教育学会第31回全国大会 広島・三原大会 ☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2023/03/20	
	形態種別	速報, 短報, 研究ノート等（大学, 研究機関紀要）	
	査読	なし	
	標題	「キャリア・パスポート」の効果的な活用に関する一考察	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学 研究紀要第 34 号	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	石巻専修大学	
	巻・号・頁	(34), 99-108 頁	
	総ページ数	10	
	著者・共著者	石巻専修大学	
個人研究費課題 ■ 該当 ・ □ しない			

著書・論文			公表
2	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022/11/13	
	形態種別	研究発表ペーパー・要旨（全国大会，その他学術会議）	
	査読	なし	
	標題	キャリア発達を促す産学官連携事業の実践研究－「いしのまき子ども未来スクール」の実践を通して－	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	日本キャリア教育学会第 44 回研究大会 大会発表論文集	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	日本キャリア教育学会第 44 回研究大会実行委員会	
	巻・号・頁	38-39 頁	
	総ページ数	2	
	著者・共著者	日本キャリア教育学会	
			個人研究費課題 ■ 該当 ・ □ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

著書・論文			公表
3	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022/06/25	
	形態種別	研究発表ペーパー・要旨（全国大会，その他学術会議）	
	査読	なし	
	標題	高大連携による「総合的な探究の時間」の実践に関する一考察	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	日本生活科・総合的学習教育学会第31回全国大会 広島・三原大会 大会紀要	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	日本生活科・総合的学習教育学会	
	巻・号・頁	152-152 頁	
	総ページ数	1	
	著者・共著者	日本生活科・総合的学習教育学会	
			個人研究費課題 ☐ 該当 ☐ しない ☒

著書・論文			公表
4	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022/04/02	
	形態種別	速報，短報，研究ノート等（大学，研究機関紀要）	
	査読	なし	
	標題	コロナ禍の現状を踏まえたこれからの特別活動の在り方に関する一考察 ―石巻地区小学校の現状に関する意識・実態調査から―	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学教育会 教科教育（初等・中等）研究部会報第6号	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	石巻専修大学教育会 教科教育（初等・中等）研究部会	
	巻・号・頁	(6), 55-62 頁	
	総ページ数	8	
	著者・共著者	石巻専修大学教育会 教科教育（初等・中等）研究部会	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない

著書・論文			公表
5	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022/04/02	
	形態種別	速報，短報，研究ノート等（大学，研究機関紀要）	
	査読	なし	
	標題	教科等横断的な視点による総合的な学習の時間の取組に関する一考察	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学教育会 教科教育（初等・中等）研究部会報第6号	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	石巻専修大学教育会 教科教育（初等・中等）研究部会	
	巻・号・頁	(6), 72-80 頁	
	総ページ数	9	
	著者・共著者	石巻専修大学教育会 教科教育（初等・中等）研究部会	
			個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	2022/11/13	
	発表テーマ	キャリア発達を促す産学官連携事業の実践研究－「いしのまき子ども未来スクール」の実践を通して－	
	会議名	日本キャリア教育学会第44回研究大会	
	主催者	日本キャリア教育学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）Web 会議システム Zoom によるオンライン開催 大会本部事務局 秋田県立大学	
	単独共同区分	単独	
	開催期間	2022/11/12～2022/11/13	
	発表者・共同発表者	横江信一	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

学会発表			公表
2	発表年月日	2022/06/25	
	発表テーマ	高大連携による「総合的な探究の時間」の実践に関する一考察	
	会議名	日本生活科・総合的学習教育学会第 31 回全国大会 広島・三原大会	
	主催者	日本生活科・総合的学習教育学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）Web 会議システムによるオンライン・オンデマンド開催 大会本部事務局 広島大学	
	単独共同区分	単独	
	開催期間	2022/06/25～2022/06/26	
発表者・共同発表者	横江信一		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

IV 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	2022/12/19	公表
	発表テーマ	「不登校やいじめを生まない学級づくり」	
	会議名	石巻市立住吉中学校 現職教育研修会	
	主催者	石巻市立住吉中学校	
	会議区分、講演区分	講師	

講師・講演			
2	発表年月日	2022/11/18	公表
	発表テーマ	子どもたちの輝く未来を求めて ―現代の課題から子どもを救う―	
	会議名	一般社団法人石巻青年会議所 11 月例会講演会	
	主催者	一般社団法人石巻青年会議所	
	会議区分、講演区分	講師	

講師・講演			
3	発表年月日	2022/08/19	公表
	発表テーマ	よりよい人間関係を築く特別活動	
	会議名	富谷市教育研究会講演会	
	主催者	富谷市教育研究会	
	会議区分、講演区分	講師	

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2023/02/04	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	W均（ダブルひとし）会議	
	役割	パネリスト	
	主催者・発行元、場所	口笛書店・I R O R I 石巻	
	対象	社会人・一般	
	概要	石巻市副市長の工藤均氏と、石巻市と包括連携協定を締結したポプラ社社長の千葉均氏による「W均（ダブルひとし）会議」のゲストとして参加し、「石巻の教育」をテーマに現状、課題、可能性について意見を述べた。	

活動			
2	期間	2022/12/18～ 2023/12/17	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	東松島市小・中学校連携教育推進委員会	
	役割	副委員長・運営参加・支援	
	主催者・発行元、場所	東松島市教育委員会	
	対象	教育関係者	
	概要	東松島市内のすべての児童生徒に義務教育9年間を通して、発達段階に応じてこれからの社会をたくましく生き抜く力を身に付けさせるための取組について協議を行う。	

活動			
3	期間	2022/11/02～ 2024/11/01	公表
	活動形態	社会貢献活動	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	タイトル、種別	東松島市小・中学校連携教育推進委員会	
	役割	副委員長・運営参加・支援	
	主催者・発行元、場所	東松島市教育委員会	
	対象	教育関係者	
	概要	東松島市内のすべての児童生徒に義務教育9年間を通して、発達段階に応じてこれからの社会をたくましく生き抜く力を身に付けさせるための取組について協議を行う。	

活動			公表
4	期間	2022/10/01～ 2024/10/01	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	石巻市いじめ問題対策連絡協議会	
	役割	会長	
	主催者・発行元、場所	石巻市教育委員会	
	対象	教育関係者	
	概要	石巻市立小・中学校・高等学校のいじめ問題対策に係る情報の共有といじめ問題防止に向けた「心のメッセージ集」の発行や教育講演会等の運営に関する助言等を行う。	

活動			公表
5	期間	2022/06/20～ 2023/03/31	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	宮城県石巻好文館高等学校学校評議員	
	役割	助言・指導	
	主催者・発行元、場所	宮城県石巻好文館高等学校	
	対象	教育関係者	
	概要	校長の学校経営に基づき、授業参観や意見を述べたりする。	

活動			公表
6	期間	2022/06/06～ 2022/07/10	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	石巻市ふるさとワーキングホリデー事業運営業務プロポーザル選定委員会	
	役割	委員長	
	主催者・発行元、場所	石巻市長	
	対象	社会人・一般	
	概要	石巻市ふるさとワーキングホリデー事業運営業務に関するプロポーザル選定委員会委員として任務を	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

		行う	
--	--	----	--

活動			
7	期間	2022/04/01～ 2024/03/31	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	石巻市地域福祉委員会	
	役割	会長	
	主催者・発行元、場所	石巻市長	
	対象	社会人・一般	
	概要	石巻市地域福祉計画の進捗管理及び評価検証について、委員相互の意見調整を図りながら、適切な助言を行う。	

活動			
8	期間	2022/04/01～ 2024/03/31	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	石巻市障害福祉推進委員会	
	役割	委員長	
	主催者・発行元、場所	石巻市長	
	対象	社会人・一般	
	概要	第4次障害者計画及び第6期障害者福祉計画・第2期障害児福祉計画策定に当たる。	

活動			
9	期間	2022/04/01～ 2023/03/31	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	東松島市立矢本東小学校学校運営協議会委員	
	役割	指導・助言	
	主催者・発行元、場所	東松島市教育委員会	
	対象	教育関係者	
	概要	コミュニティ・スクールの設置により、東松島市立矢本東小学校の学校運営に対する提言や教育活動に対する助言等を行う。	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	開放センター委員、教育連携部長	石巻専修大学開放センター委員として、小・中・高等学校等と連携し、今日的課題を踏まえ教育活動が円滑に運営できるよう調整を図る。	
2	保育士・教員養成センター委員	石巻専修大学の保育士・教員養成に向けた行政機関、幼稚園・保育所、小・中学校等と連携し、教育実習や保育士・教員養成の指導等に当たる。	
3	石巻地区高等学校校長会担当	高大接続研究事業を受け、石巻地区高等学校校長会の連携・調整等に当たる。	
4	専修大学北上高等学校との高大接続事業研究事業担当	石巻専修大学と専修大学北上高等学校との高大接続事業研究事業の担当として、単位認定科目特別講義「総合科目」の主担当として年間計画の調整と指導に当たる。	
5	石巻専修大学育友会主任	大学と学生の家庭（会員）との連携強化や会員相互の親睦を図るなど、連絡調整等を行う。	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表
